

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜城北高等学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和3年10月21日（木）
- 3 開催場所 岐阜城北高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	神谷 政人	岩野田まちづくり協議会事務局長
副会長	河野 隆	はなぞの北幼稚園園長
委員	林 祐二	三田洞地区自治会長
	長尾 弘子	元本校PTA会長
学校側	正村 達裕	校長
	野口 雅子	教頭
	野田美奈子	教頭
	後藤 清	事務長
	森 公彦	教務部長
	後藤 慎二	生徒指導部長
	若井 清美	進路指導部長
	車戸 祐介	総合学科長
	今井 明世	生活デザイン・生活文化科長

5 会議の概要（協議事項）

(1) 岐阜城北高等学校スクール・ポリシーについて

意見1：生徒にとって、指標となってよいと思う。中学生向けのものについては、いかに具体的に示すかが大切である。

意見2：作成する側にとっては大変なことだが、非常に良いものになっている。

意見3：生徒がどれだけ理解できるのかが懸念される。

意見4：県教育委員会は多様な生徒を育てるという方針があるが、スクール・ポリシーを策定することで、逆に生徒を枠にはめているように感じる。

(2) 学校評価アンケート（生徒・保護者、学校運営協議会委員対象）の結果について

意見1：生徒の評価は高いが、それに安心しないで先生方も頑張ってもらいたい。保護者については、良い評価が減少した理由がわからないので、PTA役員に確認し、マイナスの意見がなければ、問題はないと判断してよい。

意見2：令和2年度、3年度の保護者の評価が低いのは、コロナ禍の影響だと思われる。特別な状況なので、『長い歴史で見ていくと、こういう数字があった』と記憶に留めておけばよい。

意見3：自分もそうであったが、わからない状況で答えるのが、難しい。

(3) 生徒指導部より

- ・生徒指導規程について
- ・制服の在り方について

・生徒指導規程の改定手続きについて

意見1：生徒指導規程の改定は、以前から生徒会とともに進めていたと思われるが、さらに開かれた学校づくりをしていくことになる。

意見2：生徒たちに意見を聞いてもらうのはよいが、自分たちの自由だけを主張することにならないようにしてほしい。

意見3：制服を使うのは生徒なので、生徒の意見を聞くのは良いことである。

(4) 事務部より

・学校施設開放について

意見1：今までに、施設開放の希望はあったのか。

⇒ 希望はない。

意見2：生徒の使用を優先して考えてもらいたい。

意見3：岐阜市の小中の体育館は開放され、地元の自治体と連携して管理をしている。地域と学校の交流を進め、土台を固めていく中で、施設開放の理解を進めてもらいたい。

(5) 本校への意見、提言等。

意見1：本日、授業を参観した生活文化科のコースは岐阜県に数少ないコースだと思う。長期的に幼稚園教諭、保育士になりたいと思う生徒がいることは素晴らしいことである。これからも本校での学びと将来の「つながり」を意識していきたい。

意見2：授業を参観して、生徒の様子が明るく、とてもよい表情をしていた。

今の授業で学んでいることが将来の仕事につながっているのか。

⇒ 進学希望者は、学んでいることと将来の仕事がリンクしているが、就職希望者の場合は、学んでいることと違う企業を選ばざるを得ないこともある。

意見3：授業参観で学科の内容を知ることができ、新しい発見があった。自分の子どもは卒業して2年経過したが、今でも岐阜城北高校の友達と励まし合っている。在校中に一緒に学んだことを通してかけがえのないものを得たと保護者として後になってわかった。

意見4：地域で暮らしており、岐阜城北高校を頼りにしたいと思っている。コロナ禍前には、生徒と地域と一緒に活動できたが、最近は活動できていない。三田洞地区は高齢者率が高く、災害時の対応等、課題が多い。地域と岐阜城北高校の結束が深まれば、もっと良い地域になる。

6 会議のまとめ

・第2回学校運営協議会において、本校のスクール・ポリシーについて意見交換ができた。委員からの助言を受けて最終案を策定し、第3回学校運営協議会で承認を得たい。

・様々な視点の意見から改善が必要なところは速やかに対応し、今後の学校運営に生かしていきたい。